

アフガン戦争加担中止！

新たな平和構築を考える学習会

日 時 12月1日（火）18：15～
会 場 労済会館3階ホール
主 催 金沢地区平和運動センター

鳩山新政権はインド洋での給油支援（アフガン戦争加担）の根拠となるテロ対策特措法の再延長をしない方針を固めたと報道されています。これにより、テロ対策特措法は来年1月で期限切れを迎え、海上自衛隊はインド洋から撤退することとなります。しかし、自民党内では給油活動の継続を求める動きがあり、米国からも給油支援に代わるさらなる「テロ対策」支援を求める声もあります。

貧困と戦渦が広がるアフガニスタンに対して何をすべきか、平和憲法の理念を踏まえ何ができるのか、アフガニスタン現地で医療や教育などの民生支援に取り組んできた日本国際ボランティアセンター（JVC）のアフガニスタン現地代表を務める長谷部貴俊さんを招き、ともに考えていきたいと思えます。

講演 憲法9条を生かした民生支援

～アフガニスタン支援最前線からの報告～



講師：長谷部貴俊さん

（日本国際ボランティアセンター・アフガニスタン現地代表）



講師プロフィール

福島県生まれ。36歳。大学卒業後、他の国際協力NGOで東京およびカンボジア駐在員。05年よりJVCに参加。【著作】「カンボジア～戦争と記憶」（『新日本文学』2002年9月号 NO.636 新日本文学会）、「泥沼化するアフガニスタン」（雑誌『自然と人間』2006年3月号 自然と人間社）